

1. 広東省

1. 反腐敗にかかる処分

●15日、広東省紀律検査委員会は劉志偉・省党第6巡視チームリーダーを重大な紀律違反で取り調べ中と伝えた（7月16日付『南方日報』）。

2. 胡春華・省党書記が湛江市、茂名市、陽江市を視察

●9日午前、胡春華・省党書記は海南省の視察後、海口市から船で湛江市徐聞県へ向かい、徐聞港湾区の建設状況を視察。戦略的かつ全局的な高みから出発し、同港湾区の建設を急いで進め、琼州海峡のルートを更にスムーズにし、広東省と海南省の緊密な協力を推進するよう強調（7月13日付『南方日報』）。

●9日～12日にかけて、胡春華・省党書記が湛江市、茂名市、陽江市を視察。省東西北部地域の振興・発展戦略をしっかりと実行し、交通インフラ建設を更に進め、高水準の産業システムを確立し、3市の沿海経済ベルトを急いで発展させ、省西部の経済・社会発展の水準を不断に向上させていくよう強調（7月13日付『南方日報』）。

3. 政協第11期広東省委員会第38回主席会議の開催

●12日午前、王栄・省政協主席主宰の上記会議が開催され、習近平・総書記が中国共産党95周年大会で述べた重要講話を真剣に学習し、各専門委員会の上半期の業務状況について聴取（7月13日付『南方日報』）。

4. 胡春華・省党書記が第8次チベット自治区支援隊代表と面会

●13日午前、上記面会で胡春華・省党書記は、チベット自治区のペアリング支援は広東省の光栄な使命、かつ当然引き受けるべき重要な政治的責任であり、支援隊幹部は責任ある使命をしっかりと心に刻み、勇敢に引き受け、甘んじて奉仕し、全力で任務を完遂するよう強調（7月14日付『南方日報』）。

5. 胡春華・省党書記が韓国の青年政治家代表団と会談

●13日午後、胡春華・省党書記が南景弼・京畿道知事を団長とする上記代表団と会談。広東省はこれまでどおり韓国企業の投資・発展をサポートし、京畿道等との友好関係を深め、韓国側と共に中韓（惠州）産業パークの建設を急ぎ、経済・貿易・投資、科学教育・人文、バイオ医薬等の分野で実務的な協力をしていくと述べた（7月14日付『南方日報』）。

6. 王栄・省政協主席が東莞市を視察

●12日～13日にかけて、王栄・省政協主席が東莞市松山湖ハイテク産業開発区を視察し、「珠江デルタ国家自主创新モデル地区建設の進展・対策措置」に関する調査研究を実施（7月14日付『南方日報』）。

7. 改革の全面深化に関する省党指導グループ第19回会議の開催

●14日午後、胡春華・省党書記主宰の上記会議で、改革の全面深化に関する中央指導グループ第25回会議、習近平・総書記の重要講話の精神、全国国有企業改革座談会の精神を伝達・学習し、「国有企業改革の深化に関する実施意見」等について審議し、次の業務を検討・手配。朱小丹・省長も出席（7月15日付『南方日報』）。

8. 胡春華・省党書記等が葉選寧・同志の葬儀に参列

●10日、葉選寧・同志（当館注：葉剣英元帥の次男、人民解放軍少将）が79歳で死去し、14日、広州市で火葬された。習近平・総書記、李克強・総理ほか6名の中央政治局常務委員、江沢民・元総書記、胡錦濤・前総書記等が深く追悼の念を表した。胡春華・省党書記、呉昌徳・中央軍事委員会政治工作部副主任、劉亜洲・中国人民解放軍国防大学政治委員、魏亮・中国人民解放軍南部戦区政治委員、朱小丹・省長、黄龍雲・省人代常務委員会主任、王栄・省政協主席、黄華華・元省長等が葬儀に参列（7月15日付『南方日報』）。

9. 胡春華・省党書記が李偉・國務院發展研究センター主任一行と会談

●14日午後、李偉・國務院發展研究センター主任一行が広東省を訪れ、貿易状況を視察。李主任は、広東省は対外経済貿易に優位性を持つ省であり、貿易の安定成長を促進することは全国発展にとって重要な意義を持っている述べるとともに、國務院發展研究センターは広東省での視察状況をしっかりと分析・整理しながら、同省の経験や方法を総括し、的を絞った研究成果を出し、全国及び同省の発展に献策していくとした（7月15日付『南方日報』）。

10. 胡春華・省党書記、朱小丹・省長が楊杰・中国電信集团公司董事長と会談

●14日午後、上記会談で胡春華・省党書記は、昨年署名した「十三・五計画」における情報化建設における戦略的協力枠組み協定を共に実施し、通信インフラ建設、情報産業の発展、無線LAN・超高速無線LAN建設等の分野で協力を強化し、「インターネット・プラス」行動計画を共同で推進し、広東省の情報化発展のペースを上げ、ウィンウィン関係を実現したいと述べた（7月15日付『南方日報』）。

11. 省党常務委員会議の開催

●15日午後、胡春華・省党書記主宰の上記会議で、「省党委員会・省政府の国有企業改革深化に関する実施意見」等について審議し採択（7月16日付『南方日報』）。

12. 省政府常務会議の開催

●15日午前、朱小丹・省長主宰の上記会議で、標準化改革を深め、先進的な基準体系の構築、省所属国有企業の専門化された住宅賃貸のプラットフォーム建設、広東省の都市・農村住民の大病保険を一層の改善、漁船とフェリーの安全強化等の業務について検討・手配した（7月16日付『南方日報』）。

II. 広州市

1. 市政府常務会議の開催

●11日午前、温国輝・市長主宰の上記会議で、2016年上半期の民生業務の実施状況について聴取。「一江二岸三帯」の中心部分の建設推進に関する実施プラン」等について審議し採択（7月12日付『広州日報』）。

2. 12日、任学鋒・市党書記、温国輝・市長が各民主党派の新・旧指導グループと座談会を開催（7月13日付『広州日報』）。

3. 広州市党委員会が全市人代業務会議、区・鎮人代入れ替え選挙業務会議を開催

●13日、温国輝・市長司会の上記会議で、任学鋒・市党書記が講話、陳建華・市人代常務委員会主任が指示・貫徹のための意見を提示（7月14日付『広州日報』）。

4. 重要な交通インフラ工事推進業務に関する現場会議の開催

●13日、任学鋒・市党書記、温国輝・市長が広州鉄道ネットワークの東北部分にあたる貨車外廻り線の太和トンネル出口と大梅山トンネル入口の工事現場を視察し、上記会議を開催。関連部門の業務状況を聴取し、次の業務を検討・手配（7月14日付『広州日報』）。

5. 市党常務委員会議の開催

●14日、任学鋒・市党書記主宰の上記会議で、習近平・総書記の「七一」重要講話の精神を深く学習・宣伝・貫徹（7月15日付『広州日報』）。

6. 都市・農村計画に関する報告会の開催

●14日、市党委員会理論学習中心グループが仇保興・元住宅建設部副部長を招いて、上記報告会を開催。仇元

副部長が「都市・農村計画のコントロール機能を発揮させ、健全な都市化のため5つの最低ラインを守る」と題し、ガイダンスを実施。任学鋒・市党書記、温国輝・市長、陳建華・市人代常務委員会主任が出席（7月15日付『広州日報』）。

7. 市人代常務委員会調査チームが青海省、甘肅省を視察

●先頃、陳建華・市人代常務委員会主任率いる調査チームが青海省西寧市、甘肅省蘭州市及び張掖市を訪れ、人代業務の刷新・発展の経験・方法、並びに生態環境の保護、文化遺産の保護分野における地方人代による立法監督状況を視察（7月15日付『広州日報』）。

8. 任学鋒・市党書記が趙厚麟・国際電信連盟秘書長と会談

●15日、上記会談で任学鋒・市党書記は、国際電信連盟に対し、広州市を世界的業務を展開していく上で重要な協力パートナーとしてもらいたいと伝えた（7月16日付『広州日報』）。

9. 陳建華・市人代常務委員会主任等が海珠区、荔湾区、白雲区を視察

●15日、市人代常務委員会調査チームが3つに分かれて、海珠区、荔湾区、白雲区をそれぞれ訪れ、行政サービスの改善やビジネス環境の最適化への取り組み状況を視察。陳建華・市人代常務委員会主任も視察に参加するとともに、座談会を開催し、「インターネット・プラス」に行政サービス刷新を手伝わせるよう強調（7月16日付『広州日報』）。

Ⅲ. 深圳市

1. 反腐敗にかかる処分

●14日、深圳市監察局は曾建金・市公安局森林分局元局長を重大な紀律違反で取り調べ中と伝えた（7月15日付『深圳特区報』）。

2. 市政府常務会議の開催

●11日午後、許勤・市長主宰の上記会議が開催され、大衆の起業、万人のイノベーションを大きく進めるための実施意見等について検討・審議。併せて、安全な生産に関する業務に対して再動員・再手配した（7月12日付『深圳特区報』）。

3. 許勤・市長が深圳税関を視察

●11日午前、許勤・市長は深圳税関で貿易業務を視察し、次のように強調した。深圳市は全国でも貿易に優位性を持つ市として、中央・省による貿易の安定成長を促進するための政策・手配を深く貫徹・実行する必要がある。供給構造改革の要求と結びつけ、更に貿易にかかる政策措置を整理・統合、最適化、刷新しながら、貿易の成長スピードを安定させ、貿易構造を最適化し、貿易のクオリティを向上させ、長期的な競争力を確立し、全国・全省の貿易の安定成長に積極的に貢献していかなければならない（7月12日付『深圳特区報』）。

4. 中国の特色ある小都市を発展させるためのフォーラムの開催

●12日午前、第2回上記フォーラムが開催され、蔣正華・中国都市化促進会会長（元全人代副委員長）等が出席し講演。許勤・市長が挨拶（7月13日付『深圳特区報』）。

5. 許勤・市長が企業を視察

●12日午前、許勤・市長が深圳天龍移動技術有限公司を視察し、意見や提案を聴取し、企業が抱えていた問題を調整・解決するとともに、供給構造改革を急ぎ、企業がブランド価値を生み出し、市場を開拓していけるようサポートすると強調した（7月13日付『深圳特区報』）。

6. 深圳市と中国電信広東支店が戦略的提携

● 13日午後、深圳市と中国電信広東支店が戦略的協力枠組み協定に署名。双方の比較優位な資源を持ち寄ることと、共同で高速インターネットのインフラ建設を進め、情報経済を大きく発展させ、深圳市の経済・社会各分野におけるインターネットの応用水準を向上させ、積極的に国の新型スマートシティの旗印となっていくとした。馬興瑞・市党書記、許勤・市長が署名式に出席し、楊杰・中国電信董事長一行と会談（7月14日付『深圳特区報』）。

7. 市人代常務委員会による党組織理論中心グループ学習拡大会議の開催

● 13日午前、上記会議が開催され、習近平・総書記の「七一」重要講話の精神を集中的に深く学習した（7月14日付『深圳特区報』）。

8. 第9回APEC中小企業技術交流展覧会の開催

● 14日午前、工業・情報化部、深圳市共催の上記展覧会で、馮飛・工業・情報化部副部長が開幕を宣言。袁宝成・副省長、許勤・市長、劉玉浦・中国中小企業国際協力協会執行会長、韓国・中小企業庁副庁長、在中国ペルー大使、在中国チリ大使館参事官、在中国パプア・ニューギニア大使等が開幕式に出席（7月15日付『深圳特区報』）。

9. 河北省政府が深圳市で投資説明会を開催

● 14日、張杰輝・河北省副省長、艾学峰・深圳市副市長が上記説明会に出席。河北省は発展環境を更に最適化し、良好な条件を作り出そうとしており、同省政府は深圳企業の進出に対し、良質で効率の良いサービスを提供すると表明（7月15日付『深圳特区報』）。

10. 市党常務委員会・全市指導幹部会議の開催

● 先頃、国務院が2015年12月20日に広東省深圳市光明新区で発生した土砂崩れ事故の調査報告書を発表（7月16日付『深圳特区報』）。

● 15日晚、馬興瑞・市党書記主宰の上記会議が開催され、国務院が発表した上記報告書の精神を伝達。土砂崩れ事故の教訓を生かし、安全な生産と都市の公共安全に関する業務を更にしっかりと実行するために手配した（7月16日付『深圳特区報』）。

11. 市党委員会理論学習グループによる拡大学習会の開催

● 15日午前、馬興瑞・市党書記主宰の上記会議が開催され、李忠杰教授が習近平・総書記の「七一」重要講話の精神についてガイダンス（7月16日付『深圳特区報』）。

12. 馬興瑞・市党書記、許勤・市長が市安全生産監督管理局を視察

● 16日午前、上記視察で馬興瑞・市党書記は、習近平・総書記、李克強・総理の重要な指示の精神をしっかりと貫徹する必要があると、国務院が発表した土砂崩れ事故に関する報告書の精神を厳格に実行し、中央・省の手配・要求に基づき、安全な生産と都市の公共安全のレッドラインを断固守るよう強調（7月17日付『深圳特区報』）。

13. 馬興瑞・市党書記、許勤・市長が労働力マッチング業務を視察

● 16日午前、上記視察で馬興瑞・市党書記は次のように述べた。労働力の輸出は精緻な貧困救済の重要な取り組みの1つである。深圳市は中央・省の手配・要求を断固として貫徹・実行しなければならない。政策のサポート力を強め、点と点のマッチングを強化し、湖南省花垣県、龍山県、湖北省鄖西県からの労働力輸出マッチングテストを着実に推進し、深圳市で就職する貧困労働力の安定した就職によって、精緻な貧困救済を確保していかなければならないと強調（7月17日付『深圳特区報』）。